

競技上の注意事項

1 競技規則と競技方法

- (1) 本大会は 2023 年度「全国障害者スポーツ大会競技規則」及び本大会申し合わせ事項を適用する。
- (2) 競技方法は、泳力別に完泳を目指す『チャレンジクラス』と、男女別及び障害区分別、各組タイムレースの『はばたきクラス』に分けて行う。競技は「実施種目一覧表」の上から順番に行い、レースは女子から男子、障害区分番号順とする。
- (3) 「チャレンジクラス」2 種目、「はばたきクラス」2 種目までとする。
- (4) プール施設室内温度は 31℃、水温 31℃とする。

2 スタートについて

- (1) スタートは1回のみとし、やり直しは行わない。
『はばたきクラス』では、フォルススタートは失格とする。他選手がフォルススタートを行った場合でも、出発合図員の号砲にてスタートすること。
- (2) 全種目水中スタートで、おこなう。
全種目水中スタート理由といたしましては、公益財団法人日本水泳連盟は、事故防止のために、「プール水深とスタート台の高さに関するガイドライン」(2005 年)を策定しています。
当センターのプールの水深ですと策定を満たさない為、参加される皆様の安全の確保する事が困難と考え、全種目水中スタートとさせていただきます。
ご理解の程、宜しくお願い致します。

※ スタートの方法

審判長の短い笛の合図で準備し、自コース内に移動する。長い笛の合図で自コースもしくは近い方のプールサイドから入水し、自コース内に移動しスタートテングバーを握り、「Take your marks : テイク・ユア・マークス」の合図を待つ。
ピストルの合図共にスタートをする。

3 競技順

競技は、女子・男子の順に大会プログラムの順序で行う。

4 会場への入館

- (1) 入館前に発熱(37.5 度以上)が認められる、または体調不良となった場合は、会場内に入館せず帰宅するか、判断に迷う場合は入場口のスタッフに申告すること。
- (2) 入館時に検温・手指消毒のご協力をお願いいたします。
- (3) 大会申合せ事項の熟読を熟読しておくこと。

5 招集

- (1) 招集は、指定された招集場所(体育館内)において、競技開始予定時間の 15 分前より、開始し、5 分前に終了する。招集時間に遅れた者は棄権とみなすので、各自プログラムで自分の招集開始時間を確認すること。
- (2) 競技の進行に注意すること。(競技時間が 30 分以上早くなった場合、案内をする。)
- (3) 招集所に来る際には、マスクの着用は、各人の判断でお願いいたします。
※館内を移動する際には、感染リスクの高い方々も利用している為、マスクの着用のご協力をお願いいたします。

6 プール内への入場

本大会では、事前に申請した入退水時の介助者、合図棒による合図の為の介助者のみとする。
(受付へ申出て入場許可をもらい、プールサイドに入場する際はバンドを装着すること。)
※付き添い者は、プールサイドに入場する事は、出来ない。

7 競技時間

競技時間につきましては、申込締切日後に調整等をする為、大会 1 週間前にホームページ掲載いたします。
進行により変更する場合がありますので、各自進行状況に注意すること。
(進行が30分以上早くなった場合は、審判長の判断で時間を調整する。)

8 棄権・訂正について

棄権・プログラムの訂正は事前に申し出ること。参加種目の変更や追加は一切認めない。

9 速報の掲示

速報は、センター正面出入口付近の壁に掲示する。

10 メダル授与

- (1) 表彰式は、行わない。メダルの授与についてはメダル授与場所にて贈呈する。
- (2) 「チャレンジクラス」は競技規則に従って、完泳出来た者にメダルを授与する。
「はばたきクラス」は各組の障害区分毎 1～3 位にメダルを授与する。
- (3) 「チャレンジクラス」記録証は参加者に授与する。
「はばたきクラス」記録証は完泳者全員に授与する。

11 ウォーミングアップについて

実施時間につきましては、大会 1 前にホームページ掲載いたします。
使用レーンにつきましては、大会当日プールサイドにいるスタッフの指示に従うこと。

12 監督者会議について

監督者会議は実施しないため、「開催要項」並びに「申合せ事項」、をよく読んだ上で来館し、館内掲示板も確認すること。

13 会場からの退館

競技が終わり次第、退館のご協力をお願いいたします。

※新型コロナウイルス感染予防のため、介助者や引率責任者についても都度退館すること。

14 その他

- (1) プール用車いすを使用したい場合、体育館内の選手受付に申し出ること。使用後は元のところに返却するとともに受付時に渡す「未消毒」の掛札を付けること。また、使用が終わった旨を受付に報告すること。
- (2) 選手の休憩・待機場所は、体育館のみとする。
- (3) 感染予防マナーを順守しながら館内での食事(軽食含む)は可能とする。
- (4) 更衣は、プールと体育館の更衣室を利用すること。ただし、利用人数の制限等を行うため、更衣室入り口のスタッフの指示に必ず従うこと。なお、ロッカー使用時は必ず 100 円硬貨により、施錠すること。(使用后、硬貨は返却されます。)紛失などの責任は一切負わない。
- (5) 大会期間中における事故または傷病については、応急処置のみとする。その他の責任は負わないので、体調などは各自自己管理すること。なお、会場内で体調不良となった場合は、近くのスタッフに申告し、移動せずその場で指示を待つこと。
- (6) 写真撮影および動画撮影は原則禁止とする。

- (7) 手話通訳者は適宜配置とする。
- (8) 競技の観覧は2階ロビーにて可能とする。プールサイドは【土足厳禁】とし、関係者以外の方の出入りは禁止する。
介助者はプールサイドに入場する場合は、リストバンドを着用すること。リストバンドは競技終了後、破棄してください。また手荷物は、持ち込まないこと。
- (9) 主催者が許可した報道機関等の撮影及び録音、ならびに放映及び放送についてご協力をお願いします。また、冊子やセンターHP等への写真等の掲載について協力をお願いします。